

# アートスクール「親子で作るさんかくおむす美」

2012年8月19日(日)

## 記念すべき最初のアートスクール

新秋田県立美術館が7月21日に暫定オープンして初めてのアートスクールを8月19日に開催しました。アートスクールは、もの作りの楽しさを純粋に感じて欲しい、活動を通していろいろな人と出会うことを喜び合いたいという思いから企画が始まりました。

この活動では幼児、小学校低学年児童が親子一緒に紙粘土でさんかくおむすびを作り、立体の新県立美術館シンボルマークにしました。



## なぜ「おむすび」・・・？

現在の秋田県立美術館に展示されている、藤田嗣治の大壁画「秋田の行事」には、秋田の文化や産業が描かれ、その中に馬にひかれた「米俵」を見つけることができます。今は米俵にお米が入っていることを知らずに生活している子も多いと思います。藤田嗣治が描いた「秋田の行事」の中に、秋田の米が登場することを覚えてほしい、そしてお米のできる三角のものといえば…「おむすび！」と連想したことがこの「さんかくおむす美」の始まりでした。

今回は隣接する商業棟のおむすび屋さんのご協力をいただき、色々なおむすびや米俵を見せていただきました。おかげで参加した子どもたち全員が、活動の最後に「秋田の行事」を見て「米俵!」「中にはお米が入っている!」と元気に発表してくれました。

